

石川県の海産魚類 (II)

山本邦彦: いしかわ動物園, 金沢市東御影町288 (〒920)
松村初男: いしかわ動物園, 金沢市東御影町288 (〒920)
坂井恵一: のと海洋ふれあいセンター, 石川県珠洲郡内浦
町越坂3-47

Sea Fishes Collected from the Coast of Ishikawa Prefecture, the Sea of Japan (II)

Kunihiko YAMAMOTO : Ishikawa Zoological Garden, 288 Higashimikage-cho, Kanazawa 920
Hatsuo MATSUMURA : Ishikawa Zoological Garden, 288 Higashimikage-cho, Kanazawa 920
Keiichi SAKAI : Noto Marine Center, 3-47 Ossaka, Uchiura, Ishikawa 927-05

Abstract

YAMAMOTO, Kunihiko, Hatsuo MATSUMURA (Ishikawa Zoological Garden) and Keiichi SAKAI (Noto Marine Center). 1995. Sea Fishes Collected from the Coast of Ishikawa Prefecture, the Sea of Japan (II). *Rep. Noto Mar. Cent.*, (1): 9-15.

In addition to the fishes reported by a previous paper (SAKAI et al., 1991), 33 families and 43 species of sea fishes were collected from the coasts of Ishikawa Prefecture during the period from January, 1991 to December, 1992. The sea fishes collected by set nets, bottom gill nets, traps and SCUBA diving were classified according to their habitat into the following five groups: (I) 21 species are living at the coastal region and littoral zone throughout seasons; (II) 16 species come from the tropical or subtropical coasts and are observed at off coast during early summer to late autumn; (III) four species come from the arctic or subarctic coasts and are collected only in winter; (IV) one species caught in the traps for pink shrimp are living at depth of more than 200m; (V) other one species was not classified in the above 4 groups because of poor information.

はじめに

石川県は日本海に面した本州のほぼ中部沿岸に位置し、南北に細長く伸びる地形は600kmにも及ぶ変化に富んだ海岸線を有している。また日本海を北上する対馬海流の季節的な消長による影響を強く受け、周辺海域は複雑な海洋環境が形成され、北方系や南方系を含む、さまざま

な海産魚類が生息している。坂井他(1991)は石川県の沿岸域から金沢水族館の魚類採集活動によって13目67科146種を収集し「石川県の海産魚類」として報告した。その後も採集活動が継続され、1991年1月から1992年12月までの2年間に亘って新たに12目33科43種の魚類が得られたのでここに報告する。

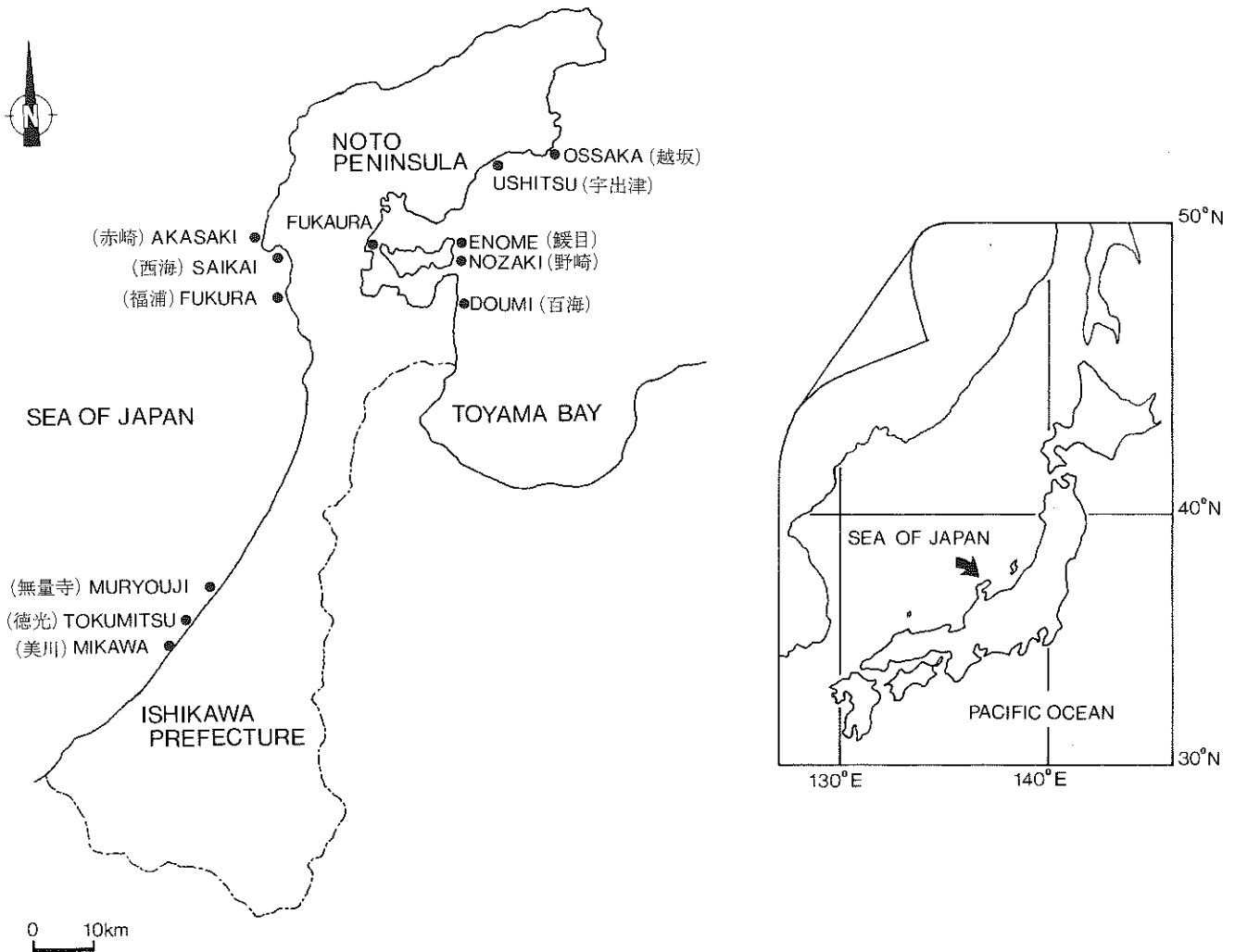


Fig. 1 Collecting sites of sea fishes at the coasts of Ishikawa Prefecture

材料及び方法

本報での海産魚類の主な採集場所を Fig.1に示した。このうち富来町赤崎 (Akasaki)、能都町宇出津 (Ushitsu)、能登島町鰻目 (Enome)、同町野崎 (Nozaki) からは地先の定置網で漁獲されたものを、富来町西海 (Saikai) からは能登半島西部の水深200m以深で主にホッコクアカエビを対象に行われるカゴ網漁での混獲物を収集した。タモ網採集は富来町福浦 (Fukura)、七尾市百海 (Doumi)、内浦町越坂 (Ossaka)、中島町深浦 (Fukaura) の水深20m以浅で行った。釣り採集は金沢市無量寺 (Muryouji) で行った。松任市徳光 (Tokumitsu) からは地先の水深80m付近で行われる刺網漁の混獲物を収集

した。さらに石川郡美川 (Mikawa) からは漂着魚を収集した。金沢水族館は現在いしかわ動物園に名称変更された。従って、本報告における標本は、一部を除き金沢水族館所蔵登録標本 (KA) として、いしかわ動物園において保存管理されている。

結果

種の同定を行った結果、新たに12目33科43種が採集された。以下にそれぞれの学名、標準和名、収集された方法、場所、年月日、そして本報告に使用した標本の標準体長と形態計質、さらに若干のコメントを記した。また、各種の生息・分布の状況を前報にしたがい以下のように5つに分類し、標準和名のあとに示した。

- (I)：沿岸にほぼ周年生息・分布する種
(II)：初夏から秋の高水温期に南方海域より回遊もしくは分散し、沿岸で生息する種
(III)：冬の低水温期にだけ沿岸に生息・分布する種
(IV)：水深200m以深に生息・分布する種
(V)：その他（採集例が少なく分類しがたい種など）種の配列、学名、標準和名及び形質の測定は中坊(1993)に従った。但し、ヒメジの学名については RANDALL *et al.* (1993)に従った。

Class CHONDRICHTHYES 軟骨魚綱

Order Rajiformes エイ目

Family Myliobatididae トビエイ科

1. *Myliobatis tobijei* BLEEKER

トビエイ (II)：定置網、赤崎、1991年 6月17日、体盤幅 403mm (♂)。採集後23日間生存した。

Class OSTEICHTHYES 硬骨魚綱

Order Clupeiformes ニシン目

Family Clupeidae ニシン科

2. *Sardinella zunasi* (BLEEKER)

サツバ (II)：釣り、無量寺、1991年 9月20日、標準体長 110mm。

Family Engraulididae カタクチイワシ科

3. *Engraulis japonicus* (HOUTTUYN)

カタクチイワシ (I)：定置網、宇出津、1991年12月 9日、標準体長 95mm。

Order Siluriformes ナマズ目

Family Plotosidae ゴンズイ科

4. *Plotosus lineatus* (THUNBERG)

ゴンズイ (II)：タモ網、福浦、1991年11月27日、標準体長 84mm。港内の水面付近を単独で遊泳中のものを捕獲した。標本は東海大学海洋研究所に所蔵されている。1968年7月に石川県珠洲市宝立沖で採集された全長240mmの熟卵をもった雌個体が観察されている。さらに1993年9月には珠洲郡内浦町の九十九湾において、全長約20mmの稚魚が形成するゴンズイ玉が確認されている。これらのことから、本県沿岸域においてゴンズイが繁殖している可能

性が推測される。

Order Gadiformes タラ目

Family Moridae チゴダラ科

5. *Lotella phycis* (TEMMINCK et SCHLEGEL)

イソアイナメ (II)：籠網、宇出津、1992年 6月15日、標準体長 225mm、第2背鰭57軟条、臀鰭51軟条。採集された水深は約80mであった。

Family Gadidae タラ科

6. *Gadus macrocephalus* TILESIIUS

マダラ (III)：定置網、鰻目、1991年 2月 8日、標準体長600mm。

Order Ophidiiformes アシロ目

Family Ophidiidae アシロ科

7. *Neobythites sivicolus* (JORDAN et SNYDER)

シオイタチウオ (II)：籠網、宇出津、1992年 8月13日、標準体長198mm、背鰭95軟条、臀鰭78軟条、胸鰭28軟条、腹鰭 2軟条、尾鰭 8軟条。Fig. 2。日本海では富山湾から菊池 (1931) の記録があるが採集例は少ない。

Order Lophiiformes アンコウ目

Family Ogcocephalidae アカグツ科

8. *Halieutaea stellata* (VAHL)

アカグツ (II)：刺網、徳光、1992年 1月 3日、標準体長121mm、背鰭 4軟条、臀鰭 4軟条、胸鰭13軟条、腹鰭5軟条、尾鰭 8軟条。Fig. 3。標本は千葉県立中央博物館に所蔵されている。

Order Beloniformes ダツ目

Family Hemiramphidae サヨリ科

9. *Hyporhamphus sajori* (TEMMINCK et SCHLEGEL)

サヨリ (I)：流れ藻、徳光沖、1992年 6月27日、標準体長80mm。流れ藻に付着した卵を持ち帰り孵化育成を行った結果、183日間飼育できた。

Order Lampriformes アカマンボウ目

Family Trachipteridae フリソデウオ科

10. *Trachipterus ishikawae* JORDAN et SNYDER

サケガシラ(III): タモ網、美川、1992年 5月 6日、標準体長 1528mm。手取川河口付近において釣り人小倉輝雄氏により遊泳中のものが捕獲された。

Order Syngnathiformes ヨウジウオ目

Family Syngnathidae ヨウジウオ科

11. *Halicampus boothae* (WHITLEY)

ホソウミヤッコ (V): タモ網、福浦、1991年10月23日、標準体長119mm、背鰭19軟条、胸鰭11軟条、軀幹輪数14+42。Fig. 4。水深3mのガラモ場にて採集、アルテミア等を与えたところ14日間飼育できた。日本海からは初記録である。

12. *Hippocampus japonicus* KAUP

サンゴタツ(I): 桁網、野崎、1991年 2月 2日、全長69mm、背鰭17軟条、胸鰭13軟条、軀幹輪数11+39。タツノオトシゴ属魚類は通年を通して沿岸域で観察されるが、七尾湾周辺においては冬季に行われるナマコの桁網漁において混獲されることが多い。

Order Scorpaeniformes カサゴ目

Family Scorpaenidae フサカサゴ科

13. *Apistus carinatus* (BLOCH et SCHNEIDER)

ハチ(I): 定置網、野崎、1991年12月 5日、標準体長44mm。

Family Synanceiidae オニオコゼ科

14. *Minous monodactylus* (BLOCH et SCHNEIDER)

ヒメオコゼ(II): 定置網、赤崎、1991年 8月22日、標準体長98mm。

Family Triglidae ホウボウ科

15. *Lepidotrigla abyssalis* JORDAN et STARKS

ソコカナガシラ(I): 定置網、宇出津、1992年 5月23日、標準体長130mm。

Family Cottidae カジカ科

16. *Furcina osimae* JORDAN et STARKS

キヌカジカ(I): タモ網、赤崎、1992年 7月 4日、標準体長62mm。

17. *Pseudoblennius zonostigma* JORDAN et STARKS

オビアナハゼ (I): タモ網、百海、1992年 6月 1日、標準体長114mm。

Family Liparidae クサウオ科

18. *Liparis tanakai* (GILBERT et BURKE)

クサウオ(III): 定置網、宇出津、1991年12月31日、標準体長390mm。

Order Perciformes スズキ目

Family Serranidae ハタ科

19. *Plectranthias kelloggi azumanus* (JORDAN et RICHARDSON)

アズマハナダイ(II): 籠網、宇出津、1992年 8月23日、標準体長110mm、背鰭10棘16軟条、臀鰭 3棘 7軟条、胸鰭15軟条、腹鰭 1棘 5軟条、尾鰭17軟条、側線有孔鱗数36、鰓耙数19。Fig. 5。

Family Terapontidae シマイサキ科

20. *Rhyncopelates oxyrhynchus* (TEMMINCK et SCHLEGEL)

シマイサキ (I): 定置網、宇出津、1992年 6月30日、標準体長157mm。

Family Priacanthidae キントキダイ科

21. *Cookeolus japonicus* (CUVIER)

チカメキントキ(I): 定置網、宇出津、1992年 3月 1日、標準体長224mm。

22. *Priacanthus macracanthus* CUVIER

キントキダイ(II): 定置網、宇出津、1991年12月31日、標準体長210mm。

Family Carangidae アジ科

23. *Seriola dumerili* (RISSO)

カンパチ(II): 定置網、宇出津、1992年 7月30日、標準体長105mm。

24. *Kaiwarinus equula* (TEMMINCK et SCHLEGEL)

カイワリ(II): 定置網、宇出津、1991年12月 9日、標準体長139mm。

Family Mullidae ヒメジ科

25. *Upeneus japonicus* (HOULTUYN)

ヒメジ(I): 定置網、野崎、1991年12月 5日、標準体長63mm。

Family Chaetodontidae チョウチョウオ科

26. *Chaetodon modestus* TEMMINCK et SCHLEGEL

ゲンロクダイ (II) : 定置網、宇出津、1991年12月 2日、標準体長99mm。

Family Mugilidae ボラ科

27. *Chelon affinis* (GÜNTHER)

セスジボラ (I) : 釣り、無量寺、1991年10月 3日、標準体長111mm、背鰭4棘 8軟条、臀鰭 3棘 9軟条、胸鰭15軟条、側線鱗数38。

Family Zoarcidae ゲンゲ科

28. *Petroschmidia toyamensis* KATAYAMA

アゴゲンゲ (IV) : 籠網、西海、1991年 4月 5日、全長270mm。

Family Stichaeidae タウエガジ科

29. *Stichaeus grigorjewi* HERZENSTEIN

ナガヅカ (III) : 刺網、緩目、1991年 2月 8日、標準体長488mm。

30. *Opisthocentrus tenuis* BEAN et BEAN

ハナジロガジ (I) : タモ網、百海、1991年 5月14日、標準体長124mm、背鰭60棘条、臀鰭 2棘35軟条、胸鰭19軟条。頭長22.5mm、胸鰭長14.6mm。

Family Pholididae ニシキギンポ科

31. *Pholis crassispina* (TEMMINCK et SCHLEGEL)

タケギンポ (I) : タモ網、赤崎、1992年 7月 4日、標準体長71mm、背鰭76棘条、臀鰭 2棘37軟条、胸鰭12軟条、頭長9.1mm、胸鰭長3.5mm。

Family Uranoscopidae ミシマオコゼ科

32. *Uranoscopus chinensis* GUICHENOT

キビレミシマ (I) : 定置網、宇出津、1992年 3月29日、標準体長151mm、背鰭 6棘12軟条、臀鰭13軟条、胸鰭17軟条、Fig. 6。日本海からの記録は KISHIMOTO(1987)、HONMA and KITAMI(1995)がある。

33. *Gnathagnus elongatus* (TEMMINCK et SCHLEGEL)

アオミシマ (I) : 定置網、緩目、1991年 2月 8日、標準体長220mm。

Family Chaenopsidae コケギンポ科

34. *Neoclinus bryope* (JORDAN et SNYDER)

コケギンポ (I) : タモ網、赤崎、1992年 7月 4日、標

準体長44mm。

Family Blenniidae イソギンポ科

35. *Parablennius yatabei* (JORDAN et SNYDER)

イソギンポ (I) : タモ網、野崎、1991年11月 7日、標準体長58mm。

36. *Omobranchus elegans* (STEINDACHNER)

ナベカ (I) : タモ網、越坂、1992年 6月30日、標準体長40mm。

Family Gobiidae ハゼ科

37. *Chasmichthys gulosus* (GUICHENOT)

ドロメ (I) : タモ網、越坂、1992年 6月30日、標準体長97mm。

38. *Sagamia geneionema* (HILGENDORF)

サビハゼ (I) : タモ網、野崎、1991年11月 7日、標準体長56mm。

39. *Acentrogobius pflaumii* (BLEEKER)

スジハゼ (I) : タモ網、福浦、1991年 8月21日、全長45mm。標本は横須賀市自然博物館に所蔵されている。

Family Scombridae サバ科

40. *Scomber japonicus* HOUTTUYN

マサバ (II) : 釣り、無量寺、1991年 9月20日、標準体長147mm。

Family Echeneididae コバンザメ科

41. *Phtheichthys lineatus* (MENZIES)

スジコバン (II) : 定置網、宇出津、1992年12月14日、標準体長340mm、背鰭36軟条、臀鰭33軟条、胸鰭18軟条、吸盤の板状体数10。Fig. 7。日本海沿岸では TAKEGAWA and MORINO (1970) が若狭湾から、鈴木・宇野 (1992) が鳥取県浜坂町から報告している。石川県沿岸からの記録は初めてである。他の本属魚類と同様に大型海産動物に随伴してきたものと思われる。

Order Tetraodontiformes フグ目

Family Molidae マンボウ科

42. *Masturus lanceolatus* (LIÉNARD)

ヤリマンボウ (II) : 定置網、宇出津、1991年12月 8日、全長480mm。

43. *Mola mola* (LINNAEUS)

マンボウ(II): 定置網、赤崎、1991年 5月22日、全長743mm。

以上43種の生息・分布の区分内訳は、(I)が21種、(II)が16種、(III)が4種、(IV)が1種、(V)が1種である。そして、前報(坂井他、1991)で報告したものとあわせると、金沢水族館が石川県沿岸から収集した魚類は合計19目82科189種となり、生息・分布の区分内訳は、(I)が100種、(II)が56種、(III)が14種、(IV)が14種、そして(V)が5種となった。

謝 辞

本報告をまとめるに当たり、ご教示と原稿の校閲をしていただいた京都大学農学部中坊徹次助教授に深謝いたします。また、発表の機会と便宜を計っていただいた、いしかわ動物園の宮崎光二園長に感謝致します。種の同定に際しご教示いただいた千葉県立中央博物館の望月賢二氏、横須賀市立自然博物館の林公義氏、東海大学海洋研究所の岸本浩和氏に厚くお礼申し上げます。また、困難が伴う採集活動を共にされた同僚の岡本武氏と徳武浩司氏(現、八景島シーパラダイス)、石川県内の漁業協同組合ほか関係各位の協力にも謝意を表します。

文 献

- HONMA, Y. and T. KITAMI, 1994: Fauna and flora in the waters adjacent to Sado Marine Biological Station, Niigata University, Supplement 2. *Rept. Sado Mar. Biol. Stat., Niigata Univ.* **25**, 13-30.
- 菊池勘左衛門, 1931: 富山湾産魚類目録. 富山湾生物調査目録(3), 富山教育(富山県教育会編), 206, 1-34.
- KISHIMOTO, H., 1987: A new stargazer, *Uranoscopus flavipinnis*, from Japan and Taiwan with redescription and neotype designation of *U. japonicus*. *Japan. J. Ichthyol.*, **34**(1), 1-14.
- 中坊徹次編, 1993: 日本産魚類検索, 全種の同定. xxxiv + 1474pp, 東海大学出版会, 東京.
- RANDALL, J. E., M. L. BAUCHOT and P. GUÉZÉ, 1993: *Upeneus japonicus* (HOUTTUYN), a senior synonym of the Japanese goatfish *U. bensasi* (TEMMINCK et SCHLEGEL). *Japan. J. Ichthyol.*, **40**(3), 301-305.
- 坂井恵一・山本邦彦・徳武浩司・岡本武・松村初男, 1991: 石川県の海産魚類. 動物園水族館雑誌, **33**(1), 5-16.
- 鈴木寿之・宇野政美, 1992: 山陰但馬で採集・確認された魚類の日本海初記録種および稀種. 伊豆海洋公園通信, **3**(10), 2-5.
- TAKEGAWA, Y. and H. MORINO, 1970: Fishes from Wakasa Bay, Japan Sea. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, **17**(6), 373-392.

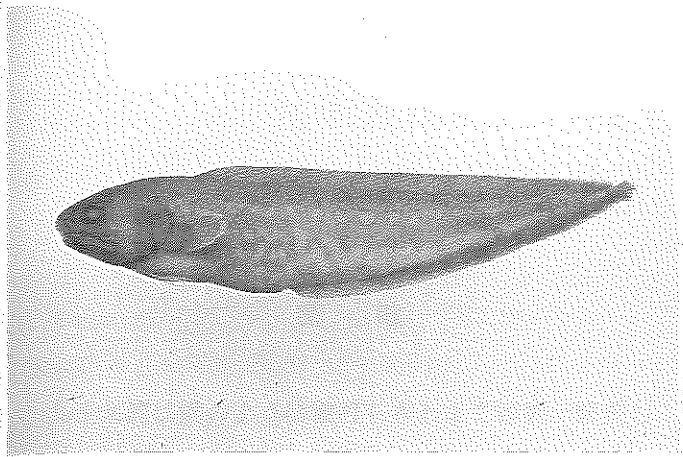


Fig. 2 *Neobythites sivicolus* シオイタチウオ
KA-92.224, 198mm SL, from Ushitsu

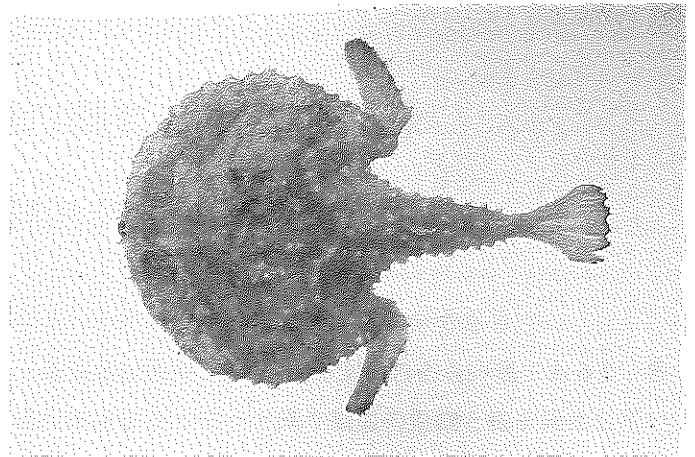


Fig. 3 *Halieutaeastellata* アカグツ
KA-92.048, 121mm SL, from Tokumitsu

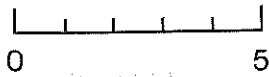


Fig. 4 *Halicampus boothae* ホソウミヤッコ
KA-92.029, 119mm SL, from Fukura

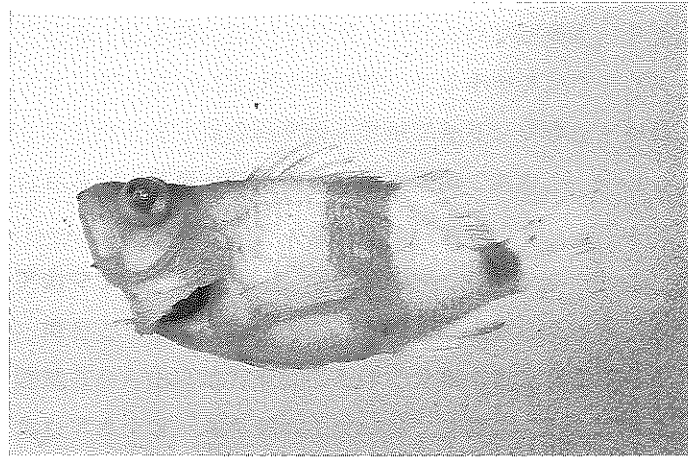


Fig. 5 *Plectranthias kelloggi azumanus* アズマハナダイ
KA-92.223, 110mm SL, from Ushitsu

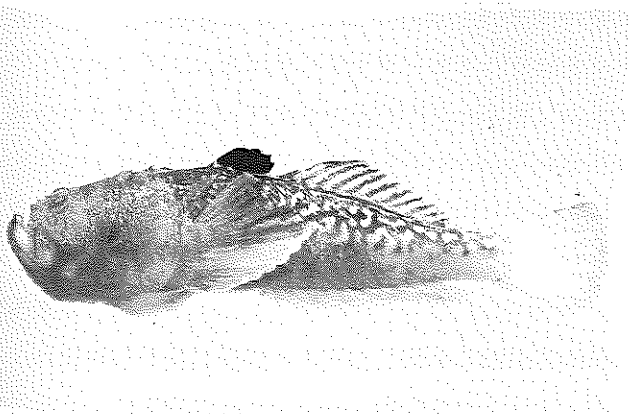


Fig. 6 *Uranoscopus chinensis* キビレミシマ
KA-92.032, 151mm SL, from Ushitsu

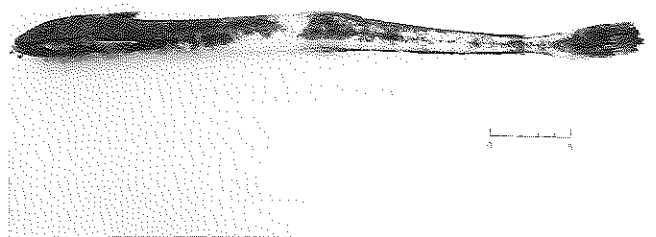


Fig. 7 *Phtheirichthys lineatus* スジコバン
KA-92.371, 340mm SL, from Ushitsu